（別紙２）

平成２８年度
ふるさとづくり大賞

受賞者の概要

平成２９年１月２０日

大　賞

カール　ハインツ　ベンクス
ヴィートリッヒ　クリスティーナ　ベンクス　【新潟県十日町市】・・・・・・・2

優　秀　賞

島根県邑南町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

団体表彰

北海道中標津農業高等学校【北海道中標津町】・・・・・・・・・・・・・4
下内野自治会【岩手県一関市】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
千葉之家花駒座【福島県檜枝岐村】・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
特定非営利活動法人自然塾寺子屋【群馬県甘楽町】・・・・・・・・・・5
特定非営利活動法人情報ステーション【千葉県船橋市】・・・・・・・・6
チームよつてら【千葉県四街道市】・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
荒川バラの会【東京都荒川区】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池【東京都八王子市】・7
氷川台自治会【東京都東久留米市】・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
日本大通り活性化委員会【神奈川県横浜市】・・・・・・・・・・・・・8
社会福祉法人佛子園「シェア金沢」【石川県金沢市】・・・・・・・・・9
一般社団法人三國會所【福井県坂井市】・・・・・・・・・・・・・・・9
プチ送迎ボランティア【長野県松本市】・・・・・・・・・・・・・・・１０
大野木長寿村まちづくり会社【滋賀県米原市】・・・・・・・・・・・１０
鳴り石の浜プロジェクト【鳥取県琴浦町】・・・・・・・・・・・・・１１
やかげ小中高こども連合ＹＫＧ６０【岡山県矢掛町】・・・・・・・・１１
遊子川地域活性化プロジェクトチーム【愛媛県西予市】・・・・・・・１２
北九州フィルム・コミッション【福岡県北九州市】・・・・・・・・・１２
水俣市寒川地区【熊本県水俣市】・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３

地方自治体表彰

福島県只見町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
静岡県三島市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
滋賀県東近江市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
鳥取県・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
大分県豊後高田市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

個人表彰

内山　裕紀子【三重県尾鷲市】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
西辻　一真【京都府京都市】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
小松　圭子【高知県安芸市】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８

大　賞

カール　ハインツ　ベンクス
ヴィートリッヒ　クリスティーナ　ベンクス

新潟県十日町市

概　　要

平成５年に一人のドイツ人建築デザイナーが新潟県旧松代町（現十日町市）の古民家を購入。廃屋でしかなかった古民家が見事に住宅として蘇った。古民家が次々と取り壊される風潮に「宝石を捨てて砂利を買っている」と警鐘を鳴らし、古民家再生により里山の魅力を伝えるため竹所集落で古民家の再生に取り組む。数年後、古民家を購入し移住する人が現れた。自宅を含め７棟が完成した際には、過疎で衰退した村には子供の声が聞こえ、若い人たちの移住により村に笑顔と活力が生まれ「奇跡の村」と呼ばれるまでになった。さらに、彼の夫人も松代、竹所の住民の一人として、竹所プロジェクトに積極的に携わっている。

評価された点

・外国人の目から日本の古民家の価値を見出し、自ら再生に取り組むことで、地域住民に自らの地域が持つ価値に気付かせた。古民家再生だけではなく、地域住民を巻き込んだ地域活動にも取り組み、地域づくりに大きく貢献している。新たに移り住んできた人たちが地域の魅力について情報発信することで新たな人とモノの流れができており、今後の活動の広がりにも注目したい。
・古民家再生を通じ山村の魅力を発信し、過疎集落の移住者流入に大きく貢献されている。
　また、単なる建物再生ではなく古民家再生を日本文化を後世に残し伝える取組みとしてもその果たされた役割は大きい。
・カール氏の取り組みは見に行ったことがあるが、独特なデザインで中々面白い。
・よそ者の目、外国人の目を通じて、地域の本物の宝を気づかせてくれている。集客にもつながる。
・「よそ者」として地域の価値を評価し、地域活性化につなげた長年の功績を評価。
・古民家再生の取り組みは、日本の伝統的建築文化を維持するとともに、過疎で衰退した村を復活させるなど、大変な成果を得た事業である。外国人である一人のドイツ人建築デザイナーが古民家の価値を見出し、それを再生復活する地道な努力は十分に評価に値するし、感謝したい。
・よそ者がふるさとづくりを具体的に成功させた事例と考える。
・古民家再生の例は多くあるが、長年地域全体のふるさとづくりに展開されて世帯数増につながっている点は高い成果を出している。
・市との連携、住民との協働の高さがうかがえる。
・海外からのデザイナーが実際にやってみせたことがすごいと思う。奇跡の村を応援したい。
・当初は古民家再生が地域振興という目的で始められたとは思えないが、外国人の視点だからこそ、日本の歴史的魅力を発見できたとも考えられ、人材活用の視点からも地方のまち、村再生の参考モデルとなる。

優　秀　賞

島根県邑南町

概　　要

　平成１７年から５年間、急激な人口減少があり、若者の流出、農業の担い手不足などの問題が発生した。それに対処するため、「日本一の子育て村構想」では子どもを産み、育てやすい環境整備による子育て世代のＵＩターンを促進している。また、「Ａ級グルメ立町」では、町内の良質な農産物やここでしか味わえない食と体験をＡ級グルメと定義し、「素材香房ａｊｉｋｕｒａ」をオープンし、町の６次産業化の拠点となっている。

評価された点

・日本一の子育て村、A級グルメ立町など。地域の資源を徹底して考え、磨き上げて、展開している。その結果、定住促進効果もあらわれている。次々と新しい動きも生まれており、地域づくりの範となる取り組みである。
・ビジョンが明確で、着実に実績を積み上げている。
・「日本一の子育て村構想」のもと、幅広い分野で子育てを応援する施策や、「A級グルメ立町」などの取組により定住促進が促され、社会動態が平成25年度以降3年連続で増加している。人口減少の中で3年連続の社会増は素晴らしい実績である。取り組みは表彰に値する。
・少子高齢化の危機に早くから取り組み、効果を上げている地域として、他地域への波及を期待。
・長い取組の中で着実に成果をあげている。
・子育て、食によるグルメ、観光客誘致という継続的な取り組みであり、一過性にとどまらない長期的視点でビジョンをもち、地域活性化に取り組んでいる点が評価できる。
・Ａ級グルメの町として“ａｊｉｋｕｒａ”などを立ち上げ、たくさんのお客様で賑わっていることが素晴らしい。

北海道中標津農業高等学校　　北海道中標津町

概　　要

農業高校生が指導者となり地域の子供たちに食の大切さを伝えることを目的とした地域一体型プロジェクトとして、平成１８年に計根別食育学校を開校し、毎年生徒主体でジャガイモ栽培やキュウリ栽培、家畜について、食肉加工などの学年進行に合わせた教材で地域の幼稚園や学校を対象に教室を開催している。開校当初は幼稚園と小学校だけを対象にしていたが、近年は中学校や児童館、農協などにも活動の幅を広げ、農業高校を中心とした地域交流の輪を形成している。

評価された点

・卒業後地元を離れることの多い高校生が地域資源を学び、地域の人々と交流することは、地域づくりの重要なポイント。子供との交流によって、さらに効果が高まると考える。
・高校生が主体となり、地域の子どもたちの「食育教育」を行う取組は、農水産、畜産、調理科のある全国の高校のモデルケース。食に真摯に取組む高校生の活動に地域の生産者の意識も高まり、地域連携が継続している。
・幼・小・中・高校が連携し、「食育学校」として地域の子供達の健全な食生活の実現に向け、果たす役割は大きい。
・食育が日本の大きな価値につながる。農家のなり手が不足している中で、関心が高まることは素晴らしい。
・今後の地方創生の鍵は高校、中学校にある。高校が中心となり、地域を巻き込んだ好事例である。
・先輩から教えてもらう知識は、勉強の範疇を超えて、インパクトのある浸透力を持ち、後輩に伝達されると考えられる。日本の「食」を支える次世代養成としても大きな期待。

下内野自治会　　岩手県一関市

概　　要

典型的な中山間地帯であり、過疎化と高齢化の渦中にありながらも住民が一丸となり、地域づくりの方向性を定めた「下内野4ＷＤ計画」（※4＝老若男女全員で力強く、Ｗ＝水、Ｄ＝夢）を策定し、活力あふれる地域づくりに取り組んでいる。「かじかの里」をキャッチフレーズに水質保全活動と意識啓発活動に取り組み、北上川の支流・砂鉄川に清流の象徴であるかじかの里の再生を目指している。また、自治会員が未利用の農地を提供し、地域づくりの仲間として移住者を受け入れ、活性化が図られている。

評価された点

・流域の上流・下流の交流が活発に行われている好事例。
・地域が身銭をきる発想が重要で、「ない、ない」と嘆かずに、そこにある資源を最大限活用していることが評価できる。
・地域が一丸となった取り組みが成果を上げている。積極的に移住者を受け入れており、パートナー的な役割を担い、後継者へとつながってきている。

千葉之家花駒座　　福島県檜枝岐村

概　　要

檜枝岐歌舞伎を上演する千葉之家花駒座は、役者から裏方まで全てが村民で構成されており、仕事の合間に練習を重ねて舞台に臨む。年4回の村内公演の他、被災地を始めとする村外公演も実施。また、後継者の発掘と育成を目的として、学校行事等にも歌舞伎を組み入れている。

評価された点

・農村歌舞伎の代表的な一座。今後訪日観光客の関心も高まる可能性がある。
・古くから地域に伝わる伝統文化を現在に残すとともに、将来に向けて伝承しようとする地域の取組は、高く評価される。
　また、親から子へ、子から孫へと伝統が受け継がれる中、檜枝岐歌舞伎は農民藝術としても後世に引き継ぐ価値がある。
・村民まるごと歌舞伎座として結束を固めていきながら、多世代間のコミュニケーションの場として、その活動は大きな役割を果たしている。後継者づくりにも配慮しながら、復興活動にも大きな期待を抱かせると思う。
・全て村民自前の伝統芸は貴重。実際に見てみたいと思う（そのクオリティーを確認したい）。

特定非営利活動法人自然塾寺子屋　　群馬県甘楽町

概　　要

地域住民と一体となってＪＩＣＡ海外研修員受入れ事業を平成13年～約400名、ＪＩＣＡ青年海外協力隊派遣前研修を平成15年～約700名に実施しており、現在も継続して事業活動している。また、近年では新規就農者・Ｉターン移住者のコーディネート、甘楽町創業支援塾（平成28年～）の開催等若者の活躍相談の場を設け、地域に根ざした活動を行っている。

評価された点

・青少年育成、環境保全、国際協力をうまくミックスした取り組み。移住者（就農者）の確保にもつながっており、これからの国際的な展開に期待。
・ＪＩＣＡの研修受け入れを核に、農業団体の活動が活性化し、新しい形のグリーンツーリズム創出に繋がっている。
・海外研修員や青年海外協力隊の受け入れを通じ、開発途上国と日本の農村をつなぎ、まさに世界への入り口となっている取り組みの功績は大きい。
　また、そのような活動の結果、新規就農者も出てきているなど、高齢者の多い地域農業の活性化に大きく貢献している。
・ＪＩＣＡ海外研修は人材育成に貢献しており、さらなる発展を期待している。
・地域住民と連携して実施するＪＩＣＡ海外研修は地域の人材育成に貢献しており、さらなる発展を期待している。
・町との連携により地域住民が一体となった取り組みが成果を上げており、地域に根ざした活動が展開できている。外からの受け入れが良いつながりになってきたと思う。

特定非営利活動法人情報ステーション　　千葉県船橋市

概　　要

年齢や性別、職種、所得を選ばない本の持つ力を活用し、地域住民の交流の場として民間図書館を運営している。貸し出す本は全て寄贈されたもので、本の寄贈、運営ボランティア、図書館の利用といった様々な関わり方により、各人の都合に合わせて図書館に関与することができる仕組みとなっており、コミュニティ形成の場として機能している。
本の貸出に際しては、冊数を2冊と少なくすることで図書館を訪れる機会が増えるようにするなど、コミュニケーションを図る機会が増えるよう工夫している。

評価された点

・手作りの図書館を地域コミュニティの拠点とし、地域の人たちの交流を生み出す仕組みはとてもユニークで魅力的。高齢者を中心とする地域住民がボランティアとしての受け皿になっている点も評価できる。今後の取組みとして、空き家で図書館を運営し、空き家対策にもつなげていく構想にも期待したい。
・ただ本を貸し借りするだけではなく、本を通じて利用者同士の交流や地域に貢献しようというボランティアに場所を提供している。また、市民大学を開催し従来の図書館の機能を拡大して活動している。
・図書館は今後地域の情報センター、交流センターの拠点となると予想されている。当該団体は、本を触媒に人をつなげる役割を果たして、効果を上げている。

チームよつてら　　千葉県四街道市

概　　要

地域の拠点である公民館が若年層に有効に活用されず、地域コミュニティの希薄化、居場所づくりの必要性等の課題を抱えていた。また学校現場だけでない、地域の資源を生かした多様な体験を含む教育活動を行う必要性が求められていた中、
公民館等を活用し、小学生を対象とした学習支援、体験学習を行う「寺子屋」を高校生、大学生を中心とした団体「チームよつてら」が地域と連携し実施。

評価された点

・公民館を活用し、小学生を対象とした寺子屋は珍しく、高校生や大学生の先輩たちとの交流で、地域での思い出づくりにつながり、地域への愛着につながる優れた取り組みと考える。
・地域の高校生、大学生が小学生向けの「寺子屋」を通じて、地域コミュニティを活性化している好事例。ＯＢ・ＯＧも参加し、継続性も期待できる。
・大学生や高校生など、若者が主体となって寺子屋事業に取り組んでいる点を評価したい。年齢の近い学生から勉強を教えてもらえる場は小学生にとって、とても貴重で、サポート役の学生たちも、色々な世代の人たちと関わることで多くのことを学ぶ良い機会となっている。若者が得意とするＳＮＳの活用等により、今後更なる発展が期待できる。
・学生が考えたことを実施し、子供たちの意思を活かしたことは大きいと思う。やればできる、願えばかなうという精神。

荒川バラの会　　東京都荒川区

概　　要

都電荒川線を「みどりの軸」として位置付け、昭和６０年度からバラの植栽による緑化を進めている。これらのバラの管理を行政と地域住民が協働で取り組み、区民のバラへの愛着を深めることを目的に「荒川バラの会」が発足した。区内５箇所のバラ花壇を活動場所とし、年間を通して剪定や花がら摘み、除草、清掃などの維持管理を行うことで、毎年美しい花々を咲かせ、来訪者を楽しませている。

評価された点

・都電とバラの組み合わせは東京を代表する風景として定着し、観光客の目を楽しませている。地域住民の協力の下に、バラの手入れが行われていることにも注目されており、継続的な活動が期待される。
・年々、会員が増加している。行政と住民が協働しながら開催する「あらかわバラの市」は、区を代表するイベントの一つとなっている。これも地道にバラを育てるという活動が支えている。長年に亘る活動の蓄積が開花しており、今後の継続性も高い。また、新人会員に対する管理技術の伝承が行われている。今後は他地域との連携などを視野にいれるなど、活動を拡げている。
・東京に唯一残る都電沿線は、懐かしい風景としても人々の心の故郷となっている。それらは、地元の人々が見守り、育てるバラの植栽とその手入れをする姿が風景として映るからとも言える。東京の故郷づくりとしても貴重な市民活動である。

特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池　　東京都八王子市

概　　要

活動する地域は、市外から転入してきた新住民が多く、他の地域に比べ住民のつながりが希薄と言われてきたが、地域住民や企業、学校など様々な主体と協働・連携しながら公園・緑地の管理運営を中心とする活動を行い、地域のお祭りや市民参加による里山保全活動を展開することで、地域づくりを実践。

評価された点

・地域づくりの老舗。つながりが希薄な地域で活動をするようになり、地域のさまざまな人や組織との協働が生まれている。都市型の地域づくりのお手本として評価できる。
・様々な活動を通じて地域コミュニティに新たなつながりを作りだしている。市民参加による公園管理の仕組みなど、独自の先進的な取組みもユニーク。協働のまちづくりのノウハウの継承にも力を入れており、今後さらなる展開を期待。
・公園という誰でもいつでも行ける場所を地域づくりの拠点とし、ニュータウンにおけるつながりの場を提供している。
・都内で自然を残している八王子。その自然を生かして長年、市民交流活動に取り組み、数多くの実績を出している。
・常に新しいことにチャレンジしながら、地道な活動を展開してきた団体。国内の他地域、他団体にも影響をあたえてきた。
・ニュータウンの地域づくりとして示唆にとんでいる。
・地域住民とのつながりを大切にし、ニュータウンの難しい環境の中でも「やればできる」ということを証明してくれている。また、次世代への継承も評価できる。

氷川台自治会　　東京都東久留米市

概　　要

氷川台地域では転居に伴う空き家・空き地が増えており、災害時における被害の拡大や、犯罪の温床となることが懸念されていた。それに対して、空き家・空き地を地域の資源として捉え、空き家の庭を農園として管理し、野菜の直売所としても利用するだけでなく、様々なイベントに利用している。その結果、空き家がもたらす悪影響を未然に防ぐだけでなく、“ふれあいの場”として地域を活性化している。

評価された点

・都市部の過疎化が進む中で、空き家・空き地の利活用を推進する自治会の活動は評価でき、他の地域のお手本となる好事例。住民の防災意識向上に繋がっているのも高評価。
・行政の手を借りずに地域の住民が主体となって空き家を「地域の資源」として農園やイベント会場などに有効活用しており、素晴らしい。自治会の活発な活動の成果によって地域の住環境が改善されるだけではなく、自治会加入率の上昇、高齢化率の減少等にもつながっており、全国の住民自治の模範となる取組みだ。
・一人の1,000歩よりも1,000人の１歩の方が大事と言われる。多くの方の協力体制を構築していることは、活動を超えた力になると思う。空き家の農園もGOOD IDEA。

日本大通り活性化委員会　　神奈川県横浜市

概　　要

日本大通りの景観づくりをソフト面からも取り組む組織として、地域の有志により設立。日本大通りの空間の質を高め、市民に愛されるストリートとしていくため、オープンカフェや各種イベントをはじめとした公共空間の利活用を行うとともに、その実施に向けた地域や行政との連携・調整を行っている。また、日本大通りに留まらず、周辺地区とも連携して、横浜全体や市外からも人を呼び込む賑わい景観を創出している。

評価された点

・都市型のエリアマネジメントのモデルケース。ＰＰＰが上手く活用されている事例はまだ少ないので、貴重な事例。
・斬新な取組みを次々に打ちだし、多くの人たちに愛される景観を創り出すことに成功している。基本的な活動は自主財源で運営しており、行政に依存しない独自の取組みで10年継続している点も評価。
・公共空間の利活用、地域の賑わい景観づくりや交流の促進など、地域の活性化に大きく貢献。補助金等に頼らない、「地域の力」でまちづくりが持続されている先進的な事例。
・オープンカフェやウエイターズレース、イルミネーションは海外なども含めて他のところにもあるが、普段の場所を楽しくする工夫を評価。楽しく過ごすことは観光にもつながる。
・ストリートを活用したまちづくりの成功例として評価。
・活動者が増加している。会費収入、事業収入等、実施に向かって多くの障壁を取り除いている。

社会福祉法人　佛子園「シェア金沢」　石川県金沢市

概　　要

社会福祉法人佛子園では、広大な国立病院跡地に、障害者、健常者、若者、高齢者が分け隔てなく一緒に暮らせる“ごちゃまぜ”の街を目指して「シェア金沢」を整備した。街の設計段階から、人と人との関わりが生まれる仕掛けを、ハード（施設）・ソフト（運営）の両面で慎重にデザイン。

シェア金沢の「街開き」以降、住民間、また住民とシェア金沢のある田上（たがみ）地区の方々との間で、自発的・自然発生的な繋がりが日々生まれ、地域全体が“ごちゃまぜ”に深化。

評価された点

- 障害者、健常者、高齢者、若者が一緒に暮らせる街づくりのモデルケース。「ごちゃまぜ」のコンセプトが判り易い。
- 色んな人が集まることで起きる”化学反応”をうまくまちづくりに活かしている。オープンから２年で住民が倍増するなど、成果が表れており、今後も、新たな展開が期待される。
- 住民が一緒の空間で、自分たちができることで支え合えている。福祉施設に頼るのではなく、自立できる仕組みを構築し、誰もがそれぞれのやり方で地域に貢献している。
- 地域社会の後のキーワードはシェアである。民間の福祉団体が、エリアマネージメントした事例で興味深い。
- ダイバーシティを重視したまちづくり。
- 様々な施設や店舗を町中に取り込み、分け隔てのないコミュニティを形成している。これからのまちづくりにおける一つのあり方として評価。

一般社団法人三國會所　福井県坂井市

概　　要

当団体は、北前船交易で栄えた歴史をもつ三国町旧市街地「三国湊（みくにみなと）」を拠点に、１５年以上まちづくり活動を実施。平成２５年度から新たに「三国湊町家活用ＰＲＯＪＥＣＴ」をたちあげ、観光誘客と商業再生、町家・街並・歴史文化遺産の保全と継承を目的に、地元住民、行政、大学生など多様な組織と連携し、三国湊特有の建築様式かぐら建ての町家を含む空き家リノベーションを通して、歴史を活かした地域づくり、人口減少対策、観光振興、景観保全、自主財源の確保を実践。

評価された点

- 三国で６軒の空き家が活用されており、これからを更に期待したい。古い建物を直すのはお金がかかるため、協力体制が必要不可欠。
- 貴重な建築資源の空き家再生や活用法等、継承のための多様な工夫をこれまでも重ねており、新たな取り組みも更なる活動強化として、自主財源化等努力の積み重ねを評価したい。
- 有名人とのつながりをうまく活用して町家を改修しており、ゲストハウスなどの誘致を展開して成果を上げている。長い間続いていることも評価できる。

プチ送迎ボランティア　　長野県松本市

概　　要

新村地区は高齢化率が非常に高く、日常の買い物や通院等に困っている高齢者の「足」の問題が顕在化していた。こうした中、地元大学生と協力し実態調査を行うとともに、課題解決のため試行錯誤した結果、近隣のスーパーや医療機関へのドアtoドアによる送迎を行うこととし、住民主体のボランティア組織を設立した。週３回の送迎が高齢者の「足」として定着してきている。

評価された点

- 高齢者の域内交通手段の確保は、全国的な課題となっている。送迎ボランティアに大学が参画し、継続性が高い取組。
- 地域課題である交通弱者問題を住民が主体となり解決する仕組みを作り上げたことは、高く評価。様々な課題の中、地区住民の「互助の精神」の結集ともいえる本事例は、「地域活性化」の手本となる優良事例。
- 車を運転できない人でも田舎で暮らせる仕組みを考えており、持ちつ持たれつで些細なことに見えても素晴らしい。
- 足を確保する。これはまさにライフラインの確保である。地方のいずれもこの課題に取り組んでいるところであるが、こうした、まずは身近にある手立ての実験・実践が地域を支えていくことと直結していると言える。
- 地味ながら、高齢化問題を自力で解決しようとする試みは時代のニーズを捉えており、ある意味これからは市民活動の主流であると思う。

大野木長寿村まちづくり会社　　滋賀県米原市

概　　要

高齢化が進む地域に危惧を抱き、「身の丈に合った内容で、今やるべきこと、出来ること」を実施するため、平成23年に民生委員・児童委員経験者、区長経験者７名が自主的に集まり立ち上げたもの。高齢者からの要望に応じて社員を派遣する高齢者支援訪問事業や食堂の運営、昼食弁当の配達など多岐にわたる活動を展開し、「地域の課題は地域で解決する」をコンセプトに、「小さな新しい公共」の実現に向けて独自の地域づくりを進めている。

評価された点

- 地域の高齢者は地域で支援をしていくという方向性で、多数の事業を展開。多世代交流につなげており、高く評価。
- 地域の課題は地域で解決している好事例。高齢者と子供との交流が活発に行われている。
- 行政が手が届かない地域の課題をコミュニティビジネスにして持続可能な仕組みで解決につなげ、安心して暮らせる地域を住民自らが作りだすことに成功。地域福祉のモデルケースであり、高く評価。
- 地域課題を自ら解決することが重要。全国モデルとして評価。
- 活動を開始して５年が経過しても会員数が増加。運営費がすべて事業収入。事業総点検、改善などに取り組んでおり、今後の事業継続可能性が高い。地域に根付いた活動である。
- 「小さいけれども新しい形の公共」という視点が魅力。事業のメニューも豊富。自発的なアイデアが活かされている。

鳴り石の浜プロジェクト　　鳥取県琴浦町

概　　要

昔からそこにありながらほとんど知られていなかったゴロタ石が集積した浜に着目し、『鳴り石の浜』と名付け、地元のボランティアと共に海岸、遊歩道や展望台を整備。被災地（陸前高田市）から届いた種で一面のひまわり畑を作るなど、独自のアイデアでこの浜を舞台に様々な活動を展開、情報発信することで、県内外の多くの人が訪れる観光地とした。

評価された点

・交通量が激減した状況を打破するために、誰も見向きもしなかった地域資源を発掘し、磨き上げた好事例。発掘した資源の「鳴り石」を多面的に展開するアイディアも評価。
・地元に埋もれていた「ゴロタ石」に着目して、”地域の宝”として磨きをかけ、様々なイベントや情報発信で、多くの人が訪れる観光地に変貌させた。まさに、「ないものねだり」ではなく、「あるものさがし」。こうした取組みは、「我が町には何も観光資源がないから･･・」と尻込みしている他の地域に大きな希望を与えるだろう。
・風景を資源として整え、穏やかな観光資源として、価値のある形へと転換させ活性化に寄与する所まで育てた活動を評価。
・今まで誰も見向きもしなかった地域資源に着目して、新たな観光地として定着させた。協働による地域づくりの成功事例として評価。

やかげ小中高こども連合YKG60　　岡山県矢掛町

概　　要

地域の小学生，中学生，高校生と保護者や地域住民が中心となり、町内の環境問題や子育ての課題などの解決に向けた世代を超えた連携活動を行っている。２０１４年に設立され、現在、約１００人の会員が地域の課題をピックアップし、解決策を検討実践している。環境問題への取組としては、ごみ問題の啓発やリサイクルの推進活動を実践している。また、地域・観光振興を目的とした独自のかき氷などのブランド商品化、カフェの運営など、多方面で活躍し、多くの活動実績がある。

評価された点

・子供たちの目線から地域の問題を協力して解決していく経験が、今もこれからも大きな力になっていくと思う。子供が動けば、大人たちも変わる。また、その子供たちが大きくなれば、たくましい人材になると思う。
・世代間交流、次世代育成も視野にいれながら地域の課題解決の活動に取り組んでいる点。
・高校生を中心に様々な地域活動を子供主体で展開している点は秀逸。幅広い活動は子供達の地域への愛着を育み、子どもたちが地域を担う決意をさせている。
・小さい頃からゴミの減量化について学び、リサイクル意識の向上に取り組むことは意義深い。
・高齢化問題と共に若年者層の人材育成は大きな課題。地域ぐるみでいかに若者も育てるか、今後の成果にも期待したい。

遊子川地域活性化プロジェクトチーム　愛媛県西予市

概　　要

「このまま何もしなければ、地域が立ち行かなくなる」と地区住民が危機感を抱き、トマト農家の女性がJAの跡地利用として農家レストランを開業、映画製作で地域を盛り上げようと立ち上がった。製作した映画「食堂ゆすかわ」は高地栽培の特産トマト生産を通し、美しい風景や支え合って生きる人間模様を描いた。地域の老若男女６２人が重要な役割で出演する８０分の映画により、地域に活力が生まれている。

評価された点

・トマトという地域資源を活用し、特産品展開、農家レストランを通じて地域内外の新しいつながりを形成し、地域の潜在的可能性を高めている。
・地区住民全員参加の住民組織が様々な分野で主体性をもって取組みを継続。住民が生きがいを感じられる場になっている。映画製作の取組みもとてもユニーク。今後、法人化によりさらなる発展が期待できそう。
・地域の農家女性が主体となり、持続可能な地域づくりにつながるものとして高く評価される。その過程において、自主製作映画による自らの活動に関する情報発信もユニーク。
・映画をまちぐるみで製作することでまちを見直し、誇りを取り戻すプロセスは秀逸。
・単なる映画製作ではなく、その背景に直面する農業後継者問題を取り上げ、出演の形で地域活動の結束を固めるきっかけづくりとしても今後、気運を高めて継続していって頂きたい。

北九州フィルム・コミッション　福岡県北九州市

概　　要

北九州市の都市イメージの向上を図るため、全国に先駆けて、映画・テレビドラマのロケ地の誘致に取り組んでいる。本市の魅力的なロケーションを生かした提案、他都市に例を見ないロケのサポート体制と困難なロケに対する果敢な挑戦により、これまでに２００本を超えるロケを本市に呼び込み、地域に大きな経済効果、宣伝効果をもたらしている。また、多くの市民がエキストラ等として撮影に参加することで、郷土愛の醸成にもつながっている。

評価された点

・7,000人の住民がエキストラやボランティアスタッフに登録し、多くの住民がロケに協力するなど、街をあげた取組みとなっている。年間１億円という直接の経済効果だけではなく、地域住民の郷土愛を育むことにもつながっており、ロケ地誘致という独自の手法による新たなまちづくりは称賛に値する。
・粘り強く発信し続けていることが効果につながっていると思う。エキストラとして参加できる市民も誇りに思うことができ、経済効果も大きい。
・フィルムコミッション活動の先駆的地域として、地域活性化に取り組み、成果をあげている。
・フィルムコミッションの先駆けとして果たした役割は大きく、評価に値する。

水俣市寒川地区　　熊本県水俣市

概　　要

昭和３６年から、地域住民で寒川水源の水を利用した棚田米栽培やそうめん流しを行い、地域経営を行っている。近年、そうめん流しを提供する食材供給施設「寒川水源亭」の電気代が地域住民の負担となっていたことから、水源の水を使い、住民主導で水力発電所を建設、管理運営している。過疎高齢化が進む限界集落において、地域活性化や集落維持を目指し、エネルギーと食の地産地消、地域住民の雇用創出、６次産業化による外部資金獲得の取り組みを住民一丸となって取り組んでいる。

評価された点

・住民主導で水力発電所を建設して運営するなど、これからの集落維持活動においても参考になる取り組み。
・半世紀前から地域が自ら稼ぐ地域経営を実践されてきた同地区のまちづくりは先進的。また、住民主導による水力発電所の整備や地域産品の６次化などの取り組みは、過疎集落の活性化に繋がる新たな手法として高く評価。
・エネルギーを含めた地産地消、自給的生活の取り組み持続可能な地域づくりに取り組んでいる。
・環境を住民主導で創り上げていく姿勢、住民の手により「仕事づくり」と外資獲得の工夫を長年重ねている。日々の当たり前の手間かけを、他地域が真似できない細やかな活動によって連携・連帯の独自のスタイル確立へと結びつけている。
・50年もの間続くそうめん流しは、すごいこと。小水力発電や６次化など、地域でやれることは地域でやるということが、雇用の創出にもつながっている。

福島県只見町

概　　要

国内有数の豪雪地帯で過疎と高齢化が進む中、学術調査により、只見町の自然が世界遺産級であることがわかる。平成18年策定の第六次只見町振興計画において、「ブナと生きるまち雪と暮らすまち」を掲げ、豊かな自然とそこで育まれた伝統的な生活・文化を活かした地域振興に取り組み、翌19年には「自然首都・只見」宣言を行い、貴重な自然を後世まで引き継いでいく責務を宣言した。自然と共生する地域づくりが世界的に認められ、平成26年6月12日に「只見ユネスコエコパーク」に登録された。

評価された点

- ブナ林は我が国における自然の象徴であり、その維持は自然と共生してきた人間社会を持続する原点。自然保護と防災を一体化した考え方で取り組んでいる。人と自然が共生するモデルとして評価。
- 長年活動を重ねる中で、ブナを大切にしたいという住民の思いが、現在の地域づくりにつながっている。
- 地道な活動は目立たないが未来に向かって続いているものであり、それが世界に認められたことは素晴らしい。
- 地域への誇りを取り戻すことと、担い手づくりがその光明を導く策と言われるが、自然と共生する暮らしの有り様と長年の取組を評価。

静岡県三島市

概　　要

少子高齢社会を迎え、市民主体のまちづくりをより一層進めることで、官から民へのまちづくりの主役の交代を図っている。

これまでの主な取り組みとして、構想段階から市民・企業・行政の協働で進めた「街中がせせらぎ事業」、『健幸』都市みしまを目指す「スマートウエルネスみしま」、せせらぎと緑に花や食などを加えて魅力を高める「ガーデンシティみしま」、市民参加型の映画作り「みしまびとプロジェクト」等が挙げられ、いずれもボランティアや市民団体等との協働で取り組んでいる。

評価された点

- 長い歴史を持つ住民主体の取組みが今、様々な面で花開いている。住民、行政、企業が協働で進めてきた様々な事業はいずれもまちづくりの先進事例として全国から注目を集めている。人口減少・超高齢社会を迎える中で、市民主体のまちづくり事業が今後どのような形で進化を遂げていくのか、期待を持って見守りたい。
- 三島市の取組は「スマートウェルネスみしま」「ガーデンシティみしま」「みしまびとプロジェクト」のどれを見ても、市民・企業・行政の協働が進んでいる。多くの取組において、市民が世代を超えて繋がっており、市民の主体性が評価できる。また、各取組が社会的にも評価を得る事で、シビックプライドが醸成され、より充実した活動を行うなど、好循環が形成されている。
- 市民運動からスタートした三島のまちづくりはグランドワークの取り組み、NPOと行政の協働など、常に新しい手法をとりいれながら発展し、地域活性化につなげている。

滋賀県東近江市

概　　要

地域のことは地域で決める惣村自治の精神が根付いている。市職員が地域の一員としてまちづくり活動に参画しており、その中で認識した地域の課題を庁内で共有し、環境・経済・社会の視点から市民が豊かに暮らす未来の実現に向けて市民・行政の協働で取組を進めている。

全国に広がっている「菜の花プロジェクト」の取組の推進や、福祉就労、高齢者のケア、エネルギー、農業を組み合わせた取組は、持続可能な地域づくりのモデル。

評価された点

- 市の職員自らが地域団体の構成員や担当職員として参画。地域に山積している様々な課題をうまく組み合わせて、ともに解決をはかる取組みは、少子高齢時代のモデル。ソーシャルインパクトボンドなど地域資源を巡らせる新たな挑戦も注目。
- 行政と地域住民が地域の課題を共有し、解決に向けた取組みを協働して行うなど、地域が一体となったまちづくりを実践。全国各地のまちづくりの手本となる事例。
- 多数の市職員が地域づくりに参画している点は秀逸。また、先進的な取り組みを市民協働型で次々と展開しており、評価。
- 長期的な取り組みによって地域に幅広いネットワークが形成されており、多層の活動展開を実践、また、参加者は多世代の厚い絆を持続、暮らしにしっかり根付いていることを評価。
- 今の時代、役所の方がこういった活動に参加することは非常に難しいと思うが、それをやっている点を評価。

鳥取県

概　　要

「ゲゲゲの鬼太郎」の水木しげる氏、「遥かな町へ」の谷口ジロー氏、「名探偵コナン」の青山剛昌氏など県出身の漫画家の作品を活かした地域づくりの取組が進められてきた。「まんが王国とっとり」を「建国」し、県・市町村・民間が一体となった情報発信・観光誘客を図るとともに、県内の２空港には鬼太郎やコナンの名を冠するなど、現在の「クールジャパン」の先行モデルとなる取組をこれまで進めてきており、多くの県外観光客の誘客をはじめ、外国クルーズ船や定期航空路線の就航による外国人誘客につながっている。

評価された点

©水木プロダクション/©谷口ジロー／小学館/©青山剛昌／小学館

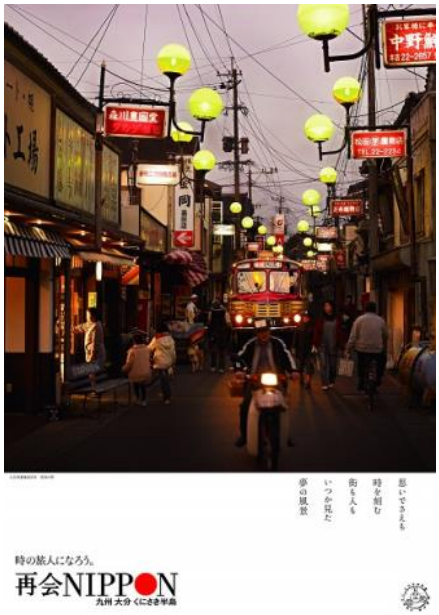
- まんがの力を活かし海外にもアピールしていることを評価。
- 人気漫画を最大限活用したまちづくりの先駆者として評価。
- ブランドの上に新ブランドとして産業を起こし、若い世代のやりがいのある仕事づくりへと結実させている点を高く評価し、今後の発展を期待したいところである。
- まんがを活用してこれだけ集客していることは素晴らしい実績だと思う。
- 日本一人口の少ない小さな鳥取県で、ソフトパワーによりクールジャパンのモデルと言える取組を生み出していることは高く評価できる。

大分県豊後高田市

概　　要

　衰退する中心市街地商店街において、観光の要素を取り入れた商業と観光の一体的振興策である「昭和の町」のまちづくり、本市の商店街が一番活気のあった昭和30年代の懐かしい町並みづくりに、市、商業者、商工会議所が一体となり取り組む。
　また、「昭和の町」の運営のため豊後高田市観光まちづくり株式会社を設立し昭和の町をより発展させるなか、観光客が皆無の商店街をピーク時には年間約40万人が訪れる観光地へと再生させた。
　市において移住定住促進を進めるなか、「昭和の町」における移住者による起業も増えており、商店街の新たな刺激となっている。

評価された点



・昭和の懐かしい街並みを資源として商店街活性化、観光振興につなげている取り組みは他の地域の範となる取り組み。また、市を挙げて移住定住促進にも積極的に取り組み、教育や子育て支援の充実等と相乗し実績をあげている。
・「昭和の町」は訪日外国観光客にも注目されるディストネーション。地域の活性化はもちろん、昭和の町の元気さが市の魅力として移住促進にも繋がっている。
・ハード整備の街づくり構想から、「昭和」という時代にスポットを当てた独自のまちづくりに取組み、成功。時代の転換点にある日本社会に強力なメッセージを投げかけている。
・観光客がいなかった商店街を40万人が訪れる観光地に育てあげるとともに、移住者の受け入れにも力を入れて２年連続で社会増を果たすなど、大きな成果。
・レトロなまちづくりの先駆的な取り組みとして評価。
・昭和という過ぎ去った歴史を資産としてとらえ、まちづくりを進めてきた点は秀逸。

内山　裕紀子　　三重県尾鷲市

概　　要

熊野古道は広域であることから、関連する事業や観光PRは行政単位に区分され、滞在時間が短い旅行者が多いこと、また、過疎高齢化に伴い保全関係者が減少するといった地域課題の解決のため、民間からエコツーリズムに取り組み、行政区域を越えた個人客向け着地型エコツアー24種類、宿泊施設や地域団体と連携した着地型エコツアー、地域資源の発掘保全を目的とするウォークイベント、視察研修やメディアなどの対応、旅行会社の企画協力やガイド派遣などのコミュニティ･ビジネスを行っている。

評価された点

・熊野古道を単なる観光地としてではなく、地域の風土、歴史、文化、人々の暮らしを伝える活動の牽引者。補助金などに頼らない自主運営で平成20年から継続している。
・長年の取り組みと多い事業組成と集客、地域経済の活性化に大きく貢献してきた。
・熊野古道はリピーターづくりが巧みであることが既に評判となっており、他地域の参考例としても評判が高い。その鍵こそが人による細やかで多様なもてなし手法である。ガイドによると「心を充たす」資源として評価の高い活動である。

西辻　一真　　京都府京都市

概　　要

自産自消のある社会を創るため、耕作放棄地の解消と新規就農者及び指導員の育成・支援を目的とする事業を展開。京都府内において、耕作放棄地を農地として再生し、体験農園やアグリイノベーション大学校の実習農場として活用するなど、積極的に事業を実施。また、都市農村交流を推進するために運営している「瑞穂マスターズ農園」の利用者促進のため、受け入れに結びつく効果の高いホームページやチラシの作成、指導員の育成を行った。

評価された点

・農業問題を解決するモデルケース。ＩＴを駆使した多角的なマネージメントは、若者を惹き付ける。
・農業に関心を持つ社会人が自由に農業を学べる場は大変貴重。耕作放棄地をうまく活用して作り出し、就農、起業につなげており、称賛に値する。
・アグリにはイノベーションが必要。まだ若く、これからも更に頑張れる。その励みにもなってほしい。
・“一筋の光”を見出す若い世代の取り組み。素直な言葉・心からの強い願いを込めた呼びかけに賛同する若者達のネットワークが国内外へと形成されつつある点と発信力を評価。
・耕作放棄地活用のパイオニアとして既に有名だが、アグリイノベーション大学校等の取り組みに見られるように活動も進化しており、これからの新企画も楽しみな存在。

小松　圭子　　高知県安芸市

概　　要

半世紀で800人いた人口が40人になった畑山地域で、高知県の地鶏「土佐ジロー」を地域振興策に掲げる養鶏農家に共感。愛媛新聞社記者を経て、養鶏農家と結婚し移住。「畑山を人が暮らせるむらにしたい」と、地鶏の生産加工販売に加え、食堂・宿を運営することで六次産業化を図り、過疎集落で雇用を創出。現在、食堂宿には年間3,000人が訪れている。

評価された点

・地鶏を核としながら、少しずつ地道に地域づくりを進めている。人口40名の集落に、3,000人が訪れるインパクトは大きい。
・「土佐ジロー」を活かし、山村の自律と自立を実践しながら、地域振興につながる様々な取組みは、人口減少、高齢化が著しく進む過疎集落の可能性を示すとともに、その持続可能な経営体制の構築に向けた努力などは、各地の山村における「地域おこし」のモデルとなるものである。
・六次産業化で、具体的な事業に取り組み、雇用創出している実績は評価に値する。
・幻の土佐ジローを全国区にし、コミュニティ・ビジネスの創出も含め、地域活性化した点を評価。
・こういった移住者が活躍していることをもっと多くの人に知ってもらい、地域を元気にしていくようになればいいと思う。3,000人の効果は大きいと思う。